

まちの話題

ト

ン、トン、トン、トン トンカチお助け隊・木工教室



7月22日、一色保育園でトンカチお助け隊・木工教室が開かれ、年長児26人が参加しました。教室では、ベニヤ板に木の枠やレールを釘で取り付け、ビー玉ゲームを作成。子どもたちはトンカチを手に競って釘を打ち、「トン、トン、トン、トン」という音が教室中に響き渡りました。中には手を打ってしまう子もいましたが、「この時期に道具の扱い方や痛みを知ることが大切」と講師。完成すると子どもたちは「コト、コト、コト、コト」と色とりどりのビー玉を転がし、夢中で遊んでいました。



夜

空を照らす大輪 宮崎ぎおん祭りと吉良花火大会

7月23日、宮崎ぎおん祭りと第23回吉良花火大会が吉良ワイキキビーチ一帯で行われました。ぎおん祭りでは、海の安全や漁業の繁栄を祈る全長約9m、重さ約800kgの大鯛みこしを「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声とともに、若衆が勇壮に担ぎ練り歩きました。



花火大会では、約1,700発の花火が打ち上げられ、約1万6千人の見物客が、三河湾の夏の夜空に彩られた大輪の花火や色とりどりのスターマインなどに魅せられました。



市

民目線で事業判定！ 事業仕分け



7月23日・24日の両日、西尾勤労会館で市民サービスの向上や事務事業の効率化を目的に、市として初の事業仕分けが行われました。仕分け対象事業は、「六万石くるりんバス運行事業」をはじめ21事業。滋賀大学地域連携センターの石井良一特任教授がコーディネーターとなり、市内外の有識者5人が仕分け人を務めました。市担当者の説明や質疑応答などの後、抽選で選ばれた市民判定人と共に判定が行われました。

判定の結果は、不要2事業、現行通り5事業、内容・規模見直し14事業。この結果は、今後の事業実施に生かされることとなります。

できごと

7/16 ▶▶ 8/15

7/30 YOMISEウキウキ通り 2011



一色町の中心部にある商店街を会場に行われ、多くの人たちでにぎわいました。

8/6 大声コンテストを開催

恵比寿・宮崎海水浴場で、声の大きさを競う大声コンテストを開催。参加者は、「暑い!」「お母さん大好き!」などと、海に向かって叫んでいました。



8/10 ふるさとワクワク体験塾 地引網体験

ふるさとの豊かな自然と触れ合う「ふるさとワクワク体験塾」の地引網体験が行われました。参加した子どもたちは、網の中で跳ね泳ぐ魚に歓声を上げていました。



8/10 親子でカローリングを楽しもう

福地ふれあいセンターで「親子でカローリングを楽しもう」が行われ、参加した親子は楽しくゲームを行いました。



8/14 貝吹のがぎ万燈



約900年の歴史を持つかぎ万燈が、万燈山(貝吹町)で行われました。夜空にかぎ状の炎が浮かび上がり、幻想的な雰囲気を醸し出していました。

8/15 米津の川まつり

西尾の盆行事、米津の川まつりが矢作川米津橋下流で行われました。万灯と花火の光の共演に、7万人の観客は酔いしれていました。



ランスの良い食事を作ろう! 親子の食育教室



7月25日、西尾市保健センターで「親子の食育教室」が行われました。この教室はバランスの良い食事を学び、子どもと楽しく触れ合いながら料理を作ることを目的に開催されたもの。市食生活改善クラブが主催で11組25人の親子が参加しました。メニューは、おやき、4色手巻きロール、カボチャの簡単煮、野菜スープ、オレンジゼリー。各グループで協力して、おやきを焼いたり、4色のご飯をのりで巻いたりして、手際よく料理を作っていました。

できあがった料理をお皿に盛り付け、ワンプレートランチの完成。「いただきます!」の声とともに、笑顔でおいしそうに食べていました。



い熱い夏! はずストーンカップ



8月7日、東幡豆港を会場に、手作りのいかだで三河湾を疾走する「はずストーンカップ・チャレンジレース2011」が行われました。

今年は、エキスパート部門(1km)、一般部門(1km)、親子・レディース部門(500m)、DIY部門(500m)の4部門に合計47チームが、また100m勝ち抜き戦のスプリントレースには40チームが参戦。それぞれ工夫を凝らしたいかだに乗って力強くオールを漕ぐ姿に、海岸や堤防からは大きな声援が送られていました。

各部門の優勝チームには幡豆石で作られた優勝カップや賞状が贈呈され、表彰台に立った参加者らは石杯を両手で掲げ上げて喜びを分かち合っていました。